

平成 30 年 11 月 28 日
独立行政法人国立科学博物館

報道関係各位

企画展「砂丘に眠る弥生人―山口県土井ヶ浜遺跡の半世紀―」
開催ならびにプレス内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：林良博）では、2018（平成 30）年 12 月 11 日（火）から、企画展「砂丘に眠る弥生人―山口県土井ヶ浜遺跡の半世紀―」を開催いたします。

本企画展のオープンに先立ち 12 月 10 日（月）に、別添のとおりプレス内覧会を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

独立行政法人国立科学博物館は、2018（平成 30）年 12 月 11 日（火）～2019（平成 31）年 3 月 24 日（日）の期間で、企画展「砂丘に眠る弥生人―山口県土井ヶ浜遺跡の半世紀―」を開催いたします。

日本の人類史における大きな転換点となった弥生時代。大陸からもたらされた稲作は、当時の食べ物を変えたばかりではなく、社会や文化を変える原動力となりました。そのころの日本列島に暮らした人々は、どのような姿をして、どのように暮らしていたのでしょうか。彼らの生前の姿を現代に伝えてくれる弥生時代人骨の大半は、九州や山口県で数多く発見されており、その研究を通じて弥生時代の人々の姿や私たち日本人のルーツが明らかとなってきました。今回の展示では、その弥生時代人骨の研究の契機となった土井ヶ浜遺跡を紹介し、その後の研究から最新の研究に至るまで、弥生人研究の歩みを紹介します。

つきましては展示のオープンに先立ち、12 月 10 日（月）15 時 00 分～16 時 00 分の間、プレス内覧会を実施します。取材・記事の掲載など本企画展の広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

記

【会 場】国立科学博物館（東京都台東区上野公園 7-20）日本館 1 階企画展示室

【開催期間】2018（平成 30）年 12 月 11 日（火）～2019（平成 31）年 3 月 24 日（日）

【開館時間】午前 9 時～午後 5 時（金・土曜日は午後 8 時まで）

【入 館 料】常設展示入館料のみでご覧いただけます。

（一般・大学生：620 円 高校生以下および 65 歳以上無料）

【休 館 日】毎週月曜日（ただし、12 月 24 日、1 月 14 日、2 月 11 日、2 月 25 日は開館）
12 月 28 日（金）～1 月 1 日（火）、1 月 15 日（火）、2 月 12 日（火）

【主 催】国立科学博物館

【協 力】土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、九州大学総合研究博物館

【展示概要】別添の本展チラシ参照

【問合せ先】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 担当：鈴木崇宣

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-5814-9887、FAX：03-5814-9898、E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

企画展「砂丘に眠る弥生人―山口県土井ヶ浜遺跡の半世紀―」
プレス内覧会のお知らせ
2018（平成 30）年 12 月 10 日（月）15 時 00 分～／国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「砂丘に眠る弥生人―山口県土井ヶ浜遺跡の半世紀―」の開催に先立ち、下記のとおりプレス内覧会を実施いたします。

当日は、当館担当研究者等による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

記

【日 時】 2018（平成 30）年 12 月 10 日（月）15 時 00 分～16 時 00 分

（受付開始 14 時 30 分～）

【会 場】 国立科学博物館 （東京都台東区上野公園 7-20）

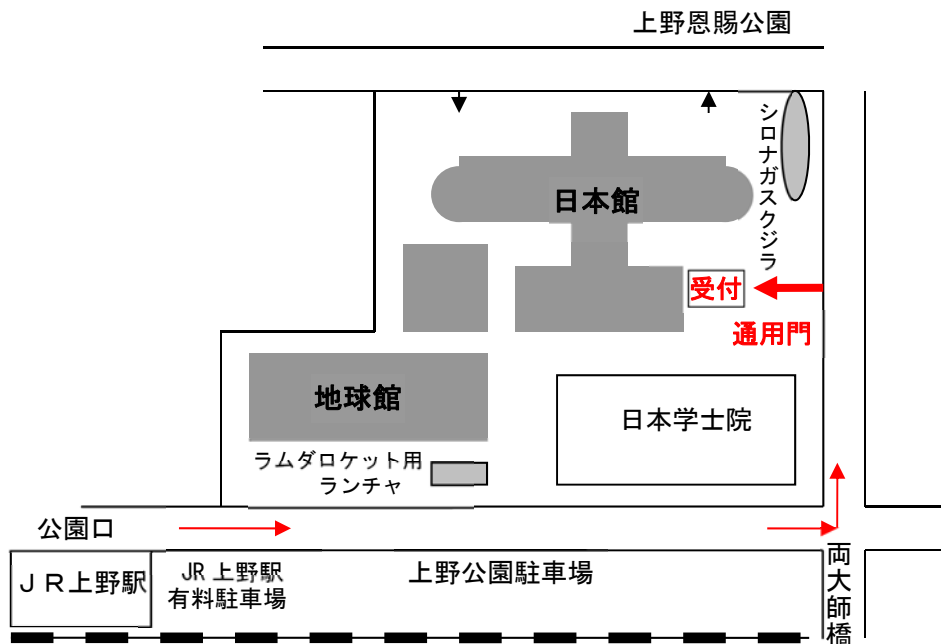
【受 付 場 所】 国立科学博物館 事務棟入口 ※通用門からお入りください。

＜交通のご案内＞ JR 上野駅公園口から徒歩 5 分

東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩 10 分

京成電鉄上野駅から徒歩 10 分

※駐車場の用意はございません。



当日のスケジュール

14 時 30 分～

受付開始（受付場所：事務棟入口 ※通用門からお入りください）

15 時 00 分～16 時 00 分

展覧会内覧（会場：日本館 1 階企画展示室）

- ・ 当館担当研究者等による展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。

国立科学博物館副館長（兼）人類研究部長

篠田 謙一

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム 学芸員

高椋 浩史

国立科学博物館人類研究部人類史研究グループ 研究主幹

坂上 和弘

- ・ 展示室内の撮影が可能です。

展示監修者のプロフィール



国立科学博物館 副館長（兼）人類研究部長

篠田 謙一（しのだ けんいち）

専門は分子人類学で、日本や中国、台湾、ベトナム、ロシアなどアジア各地の古人骨の DNA 解析から日本人の起源を追究しています。また、南米アンデス先住民の DNA 解析から、その系統と社会構造について研究を進めています。



土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム 学芸員

高椋 浩史（たかむく ひろふみ）

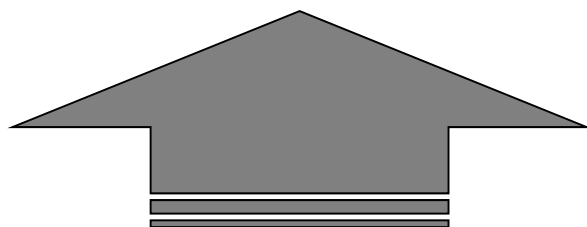
専門は形質人類学で、日本や中国など東アジアを中心として骨の形態解析から日本人の形成史、特に弥生時代の渡来人をめぐる問題を解明する研究をしています。



国立科学博物館 人類研究部 人類史研究グループ 研究主幹

坂上 和弘（さかうえ かずひろ）

専門は法医人類学で、人骨を読み解き、人類進化の過程や日本人の形成など大きな歴史を紐解く研究をしています。また、法医人類学者として、人骨から読み取ったことを警察や法医学教室などに伝えています。



【 返 信 用 紙 】

F A X 番 号

< 0 3 - 5 8 1 4 - 9 8 9 8 >

企画展「砂丘に眠る弥生人

ー山口県土井ヶ浜遺跡の半世紀ー」

プレス内覧会 参加票

(平成30年12月10日(月) 15:00～ ※受付:14:30～)

参加をご希望される方は、下記項目にご記入の上、12月7日(金)までに

FAXにてご返信いただければ幸いです。

お手数をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

□ご出席

貴社名 _____

貴メディア・所属部署名 _____

ご芳名 _____

連絡先

住所: 〒 _____

TEL: _____ FAX: _____

メールアドレス: _____

備考 _____

企画展

砂丘に眠る SKELETONS IN THE SAND DUNES 弥生人

—山口県土井ヶ浜遺跡の半世紀—

—The Yayoi people uncovered in half a century of excavations at the Doigihama Site, Yamaguchi Prefecture—

展示資料紹介

土井ヶ浜遺跡 124 号人骨



所蔵：土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

土井ヶ浜遺跡 1 号人骨



所蔵：土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

弥生時代人骨



所蔵：九州大学総合研究博物館所蔵

土井ヶ浜遺跡で出土した南海産貝輪



所蔵：土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

- I：土井ヶ浜遺跡（山口県） II：^{かむのくま}金隅遺跡（福岡県）
III：^{しん まち}広田遺跡（鹿児島県） IV：新町遺跡（福岡県）
（遺跡名は、出土した場所）

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの各種手続き・報道関係資料→写真・施設の貸出からお申し込みできます。
(<http://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



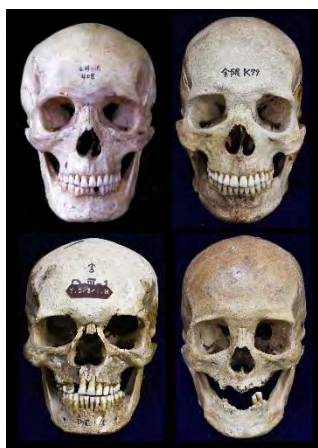
1. 企画展「砂丘に眠る弥生人」
チラシ表面



2. 金関丈夫
(九州大学総合研究博物館所蔵)



3. 土井ヶ浜遺跡
(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム所蔵)



4. 弥生時代人骨
(九州大学総合研究博物館所蔵)



5. 土井ヶ浜遺跡出土 貝製品
(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム所蔵／奈良文化財研究所撮影)

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 展覧会の開催情報紹介欄に、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、校正の段階でお送りください。(記事内容をチェックするものではありません。)
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りいたしますようお願い申し上げます。

〈問合せ先〉 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当
電話 03-5814-9887 FAX 03-5814-9898
E-mail ; kikakuten@kahaku.go.jp
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

企画展

砂丘に眠る

SKELETONS IN THE SAND DUNES

弥生人

— 山口県土井ヶ浜遺跡の半世紀 —

— The Yayoi people uncovered in half a century of excavations at the Doigahama Site, Yamaguchi Prefecture —

土井ヶ浜遺跡 124号人骨

土井ヶ浜遺跡第4次調査

2018年 12/11 (火) ~ 2019年 3/24 (日)

国立科学博物館 (東京・上野公園)
日本館1階企画展示室

開館時間 / 午前9時~午後5時(金曜・土曜日は午後8時まで)
※入館は各閉館時刻の30分前まで

休館日 / 毎週月曜日(ただし、12月24日、1月14日、2月11日、2月25日は開館)
12月28日(金)~1月1日(火)、1月15日(火)、2月12日(火)

入館料 / 一般・大学生620円(団体500円)
高校生以下および65歳以上無料 ※常設展示入館料のみでご覧いただけます。

主催 / 国立科学博物館
協力 / 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、九州大学総合研究博物館

企画展

砂丘に眠る SKELETONS IN THE SAND DUNES 弥生人

— 山口県土井ヶ浜遺跡の半世紀 —

土井ヶ浜遺跡は山口県下関市にある砂丘上に造られた弥生時代の集団墓地です。この遺跡から数多くの弥生時代の人骨が出土し、その発見は日本人のルーツを探る上で重要な情報をもたらしてくれました。今回の企画展では、日本人の形成史を解明する上で重要な資料となった土井ヶ浜遺跡の人骨資料をはじめ、西日本と東日本の弥生時代遺跡から出土した人骨資料を展示し、弥生時代人骨をめぐる研究の歴史や最新の研究成果を紹介しします。

日本人の起源論争と弥生時代人骨

明治時代以降、日本人の起源論争が本格化します。次々と古い時代の人骨が発見されるなか、弥生時代^{かなせまたけ}の人骨は発見されませんでした。そうしたなか、九州大学の人類学者金関丈夫のもとに、弥生時代の人骨が出土したとの朗報がもたらされます。



金関丈夫

弥生時代人骨の発見

土井ヶ浜遺跡から弥生時代の人骨が発見され、その情報を得た金関丈夫は5回にわたる発掘調査を指揮し、約200体にのぼる弥生時代人骨が発見されました。金関はそれらの資料をもとに「渡来・混血説」を提唱します。



土井ヶ浜遺跡



多数の石罫^{せきざ}が打ち込まれた土井ヶ浜124号人骨
※矢を打ち込まれた個体(レプリカ)

弥生人の誕生と広がり

土井ヶ浜遺跡の発掘以降、各地で弥生時代人骨が発見されます。それにより、弥生時代の人びとの形質には地域的な違いがあるなど、少しずつその姿が明らかになってきました。その一方で、弥生人の誕生について新たな謎も生まれました。



弥生時代人骨

弥生時代人骨の受傷痕

弥生時代人骨には鋭い武器で傷つけられた痕跡が数多く見つかっています。これらは弥生人が生きていた社会を理解する手掛かりとなります。

弥生人をめぐる最新研究

各地の弥生時代人骨のDNA分析が進んだことで、弥生時代には列島のなかにさまざまな遺伝的な特徴をもつ弥生人がいたことが分かってきました。



ゲノムが解析された弥生時代人骨
(福岡県 安德台遺跡、那珂川市教育委員会所蔵)

講演会

【会場】日本館 2 階講堂 【時間】14:00~15:30

第1回 12月24日(月・祝) 「形態とDNA」

第2回 1月20日(日) 「弥生時代と土井ヶ浜遺跡」

定員
100名
(事前申込制)

【交通ガイド】

- ◆ JR
「上野駅」公園口から徒歩5分
- ◆ 東京メトロ 銀座線・日比谷線
「上野駅」から徒歩10分
- ◆ 京成電鉄
「京成上野駅」から徒歩10分

※当館には駐車場および
駐輪場はございません



〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
TEL: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
FAX: 03-5814-9898



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

会期中、ギャラリートークも開催します。
詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.kahaku.go.jp/>